

令和3年度 岐阜市立市橋小学校 学校経営の全体構想

ICHIHASHI PRIMARY SCHOOL

【市の教育の基本方針】 家庭・地域との協働を基盤に「共に支え合い、個のよさや可能性を広げる教育」の実現	【学校課題】 ・明らかになった課題・問題に対して、仲間とともに考えを巡らし、解決に向けて粘り強く取り組む力の育成(かがやき) ・自分や仲間の個性を認め、仲間と協力し合って、自分たちの学校生活の質を高めようとする心の醸成(生きぬく) ・地域資源、人材の積極的な活用並びに児童数増加への対応(地域連携)	【地域・保護者の願い】 ・進んで学び合う子にしたい ・基本的な生活習慣を身に付けた子にしたい ・故郷市橋を愛する子にしたい ・家庭・地域の一員として活躍する子にしたい
---	---	--

【指導】

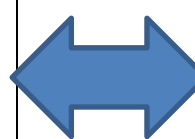
学校の教育目標 (長期) 10年	<h1 style="color: red;">かがやき 生きぬく</h1>			
副目標 (中期) 3~6年	かがえ 低：最後まで聞いて伝える 中：比べ、関係づけて深める進んで表現 高：多面的・多角的に深める豊かに表現	がんばり 低：やらねばならないことを 中：目標をもちあきらめないで 高：高い目標をもち最後までやり抜く	やさしく 低：温かい心で 中：気持ちや考えを理解し 高：誰に対しても思いやり	きょうりよく 低：仲間といっしょに 中：気持ちや考えを理解し、助け合い、励まし合う 高：思いやり、協力し合う
生きぬく = 未来を生きぬく力(特に、自立する力)を伸ばす 教職員と地域のパワーを結集した「最高の笑顔をうみだす」学校づくり ~ 新しい生活様式の中で「できること」を見つけ挑戦する ~				
重点方針 (短期) 1年	学習指導部 ○学力向上 ・基礎基本の定着・個別最適化(教科担・高/書く・ノート指導) ※主題研の視点⇒基礎・基本の定着 ・学び方の育成「聞く・話す、話し合う」指導 生徒指導・教育相談・人権担当 ○教育相談・ケース会・いじめ対策の充実 ・いじめアンケートやアセスメント結果の積極的な活用 ○道徳、人権教育の充実 ・みんな笑顔の日、ひびきあいの日の活動と当日へつなぐ日常的な取組			
目標値	全国学調 105 学評 3.2以上	学校評価 3.0以上	学校評価 3.3以上	学校評価 3.5以上
スローガン	わかる・できる	もくびかそうじ	広がるあいさつ・かがやき見つけ	つながる・支え合う仲間
CSとして	学校支援(ボランティア)部会 ○連携・協働教育(教科・総合・クラブ、Eゾゾイマズ等) ○コロナ対応協力ボランティア ○放課後コミュニティ(学び・ふれあい) 安心・安全部会/PTA ○見守りボランティア、青パト ○防犯(子ども110番等) ○防災 ○食育、生活リズム 地域活動部会 ○地域行事(ラジオ体操等) ○子ども会行事 ○精華スポーツクラブ等の行事 ○まち協との連携 テーマを明確にした学校運営協議会及び専門部会・PTAの活動の充実 コミスク市橋2021のリニューアル 積極的な学校の情報発信(学校HP、学校・学年通信、個別懇談等)			

【取組】

重 点	基礎・基本の定着	清掃活動	あいさつ・かがやき見つけ	学級活動・たてわり行事
取組	○学習指導の業績評価の目標 ○部研で評価・改善 ○ノート展の工夫・充実 ○フィードバックを確実に	○継続的な指導と評価の実施 ・手順・分担、時間、態度、片づけ、見届け等を確実に指導 ・価値づけと意味づけの評価	○指導と評価を拡大(学級内、学年間、地域ぐるみで「かがやきみつけ」) ○人権教育、児童会活動と連携して日常指導(お昼の放送や通信で評価)	○学級遊びやたてわり遊び等の活動の工夫 ○経営の業績評価の目標や経営案で明確に(学級・学年・学校で核となる活動)

【経 営】 ○コミュニティ・スクールの歩みを活用した、特色ある学校作り ● 学校運営協議会(学校関係者評価委員会)による、戦略的経営と評価を生かしたスピーディーな経営改善 ● 市橋の連携・協働教育プログラム(総合的な学習の時間)の開発・実施・改善。学校支援ボランティアの開拓。 ● 産業医と連携した働き方改革の推進、6ターム制の行事等の改善・再編の追求。 ● 積極的な情報発信(学校HPや学校・学年通信等の活用)
--

【研 修】 ○子供と教職員の魅力的な人間関係作り ● 主題研究(わかる・できる授業づくり)を通して、基礎・基本の定着を図る指導に関する研修 ● 生徒指導力(教育相談能力)を高める研修。特別支援教育の理解を深める研修。人権教育の推進を通して、教職員の人権感覚を磨き、人間性を高め合う研修。 ● 中堅ベテラン教員を指導者とした若手教員の育成のための「学級経営」「生徒指導」「授業の在り方」に関する研修 ● 校長だよりや定例の打合せ等を利用したミニ研修。
--



1. 学校運営の実際

(1) 重点方針（短期目標）について

キーワードである「教職員と地域のパワーを結集した『最高の笑顔をうみだす』学校づくり ～新しい生活様式の中で『できること』を見つけ挑戦する～」には、次のような願いを込めています。

★『最高の笑顔をうみだす』について

2020年度「笑顔をうみだす」をキーワードとして、変化を恐れず新しい試みに果敢に挑戦し、本校にとって最適な（児童の実態や地域の特色に合った）ものを見出し実践し、市橋小学校の子供にとって、ためになり役立つことは何かを考え、学習への取組みや日常生活、行事等の内容を工夫・改善してきました。

2021年度も、市橋小学校の子供にとってためになり役立つことは何かを考え、教職員と地域のパワーを結集し『最高の笑顔をうみだす』学校づくりをめざします。パワーとは**アイディア**と**挑戦**です。With コロナを意識した新しい生活様式の中で**アイディア**を絞り、自分たちができることを見つけ、**挑戦する活力ある学校**にしたいと考えます。さらに、子供たち自身にも、With コロナがそうであるように、これまで経験したことがない問題に対して**アイディア**を出し合い**挑戦**させることで「**生きぬく**」**力を強化**していきたいと考えます。その活力や生きぬく力の強化こそが子供たちはもとより、保護者や地域の皆さん、そして教職員の**最高の笑顔をうみだす**ことになるものと考えます。

その兆しはすでにあります。2020年度に、できないとあきらめずにできることを考えて実施した「たてわり運動会」やフェイスシールドを活用したペア・グループによる「対話的な学習」も**アイディア**と**挑戦**から生まれたものであり、その過程でたくさんの笑顔がうみだされています。

これらを踏まえて、**児童が自ら、(か) 考え、(が) 頑張り、(や) やさしく、(き) 協力する活動を定着させ、新たな伝統の1ページとしていきたい**と考えます。先生に言われたからできるレベルから、どうすれば自分や仲間の**笑顔**をうみだせるのか**アイディア**を出し合い**挑戦**できる**(主体性)**。指示されていないことでも自分(たち)考えてできる**(自立)**。人間関係や学習の**困難**さから逃げたくなくても、仲間同士の**協力**や地域の**力**で**支え**られる**(共生)**。このような学校にしたいという願いを込め『最高の笑顔をうみだす』学校づくりに努めます。

(2) 指導の重点について

2021年度は、「基礎・基本の定着」「清掃活動」「あいさつ・かがやき見つけ」「学級活動・たてわり行事」を重点に3指導部体制で取り組みます。特に、以下の点については、全職員が十分に意識して指導にあたる。

- 2学期制の特色を生かし、**6ターム制**による意図的・計画的な年間指導計画を作り、展開すること。各タームのねらいに合った取組みを通して、児童の主体性・自立性を育てること。
- 2020年度の成果を生かし、**マイナスや0（ゼロ）から出発しない**こと。
- **評価を見える(数値)化**したり、**指導内容を具体化**したりして、成果と課題を明確に示すこと。児童にも成果や課題が分かるように工夫すること。
- 「基礎・基本の定着」では、**児童の学びの見届け方**や「わからない・できない」を「**わかる・できる**」へ**変える指導方法や手立てを具体化(個別最適化)**すること。更に**ノートや書く指導**に力をいれること。そのうえで「**対話的で深い学び**」へつなげること。
- 「清掃活動」では、**静かで集中した態度**を育てるとともに、「自分」や「仲間」「学校を訪れる人」の**笑顔**をうみだすために、**美しさにこだわる掃除**ができるようにしたい。
- 「あいさつ・かがやき見つけ」では、場所、時間、相手を意識した、「あいさつ」ができるように指導することや、「かがやき」中身の**価値づけや意味づけを丁寧に行う**こと。
- 「学級活動・たてわり行事」では、**一人一人が価値ある存在**であることを前提に学級ベースにつながりを深め、「つながる学級・学年・たてわり」を日々の生活で意識する指導を行うこと。

(3) 目標値の設定について

設定した数値目標は、学力・学習状況調査の本校の比較値と学校評価の数値について、**学力は2019年度の値を基準に105程度を、学校評価は2020年度の値を基準に3.2以上《8割(4×0.8)》を目安に設定**したもの。数値はあくまでも目安であり、改善の成果を見える化し、客観的に評価するための手段としながら、前年度よりも効果のある指導を目指して工夫改善する。

2. 各指導部等の取組の重点（2021年度に特に取り組みたいこと）について

学習指導部	健康安全指導部	特別活動部
With コロナと6ターム制実施に伴う、年間指導計画等の改善		
<ul style="list-style-type: none"> ・聞く・話すの段階的指導の見直し ・対話的で深い学びの指導の在り方の検討 ・書く指導の工夫、ノート展の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動の指導と評価の工夫改善 ・運動会の内容の工夫・改善 ・あいさつ・かがやき見つけ等の広がり ・通学班による登校の見直しへ 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会活動の創造的活動の工夫 ・学級活動の改善 ・たてわり遊びの工夫と積み上げ
事務部	学年部	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後の児童数増加を見越した校内環境の整備 ・教職員や児童・保護者へのエコ意識の醸成 ・事務処理にかかわるICTの有効活用法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習の時間」のテーマや単元計画の改善・見直し ・形成的評価の在り方と総括的評価へのつなげ方の検討 ・教育相談体制の充実と積極的な生徒指導 	

3. コミュニティ・スクールの取組について

(1) 学校運営協議会

年5回開催を基本とし、学校経営方針についての受けると同時に、その進捗について学校だよりや授業参観、学校評価アンケート結果等をもとに検証いただき、意見を取りまとめ、年度途中における取組みの見直し・改善や次年度以降の学校運営に反映させていく。

(2) 支援推進委員会

年2回全体会を開催するとともに、部会ごとに必要に応じて会議・打ち合わせ等を実施する。

(3) 「コミスク市橋2021」の通年開催（学年ごとに地域とともに学び合う）

With コロナ(新しい生活様式)での開催の在り方を、開催時期や内容、方法も含め柔軟に検討する。「ひびきあいの日」との連携も検討する。